

キョンサン

韓国慶山市を訪ねて

～ 2011年度(平成23年度) 中学生韓国派遣記念文集 ～



JIEA

城陽市国際交流協会



この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2012年3月27日から30日までの3泊4日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生6人の感想文です。

この事業は姉妹都市である大韓民国慶山市^{キョンサン}への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらおうと当協会が1994年から実施しているものです。今回で14回目を迎え140人の中学生がこの事業を通して慶山市を訪問しました。

隣国である韓国は、近年「韓流」ブームの影響もありとても身近な国になりました。そして実際に訪問し、人々と交流することで得たたくさんのことが各人の感想文から読み取れます。

文化や習慣に触れ、慶山市の中学生との交流を通して得た体験が、未来のパートナーと共に歩む礎となることを希望いたします。



目次



ページ

派遣団の主な日程					2
「韓国を訪問して」	・ ・ ・ ・ ・	東城陽中学校	1年	塩田 黎 ^{シオタ レイ}	3
「韓国派遣団に参加して」	・ ・ ・ ・ ・	東城陽中学校	2年	静野 裕介 ^{シズノ ユウスケ}	5
「韓国派遣団を終えて」	・ ・ ・ ・ ・	北城陽中学校	2年	前川 達樹 ^{マエガワ タツキ}	7
「韓国派遣団に参加して」	・ ・ ・ ・ ・	南城陽中学校	2年	福田 明里植 ^{フクダ メルヴェ}	9
「韓国派遣団に参加して」	・ ・ ・ ・ ・	南城陽中学校	2年	丸岡 真亜沙 ^{マルオカ マアサ}	11
「韓国に行って」	・ ・ ・ ・ ・	北城陽中学校	2年	柳井 美咲 ^{ヤナイ ミアキ}	13

※学年は2011年度のものです。

あとがき	派遣団団長・城陽市国際交流協会副会長	皿木 睦夫	15
	引率・協会職員	大久保 雅由・蓮佛 明子	

2011 年度派遣団の主な日程

2012 年 3 月 27 日 (火)

城陽市役所を 8 時 15 分に出発
 関西国際空港から空路釜山金海空港へ
 バスで慶山市へ移動
 慶山市長・慶山市議会表敬訪問
 慶山市場見学
 慶山市立博物館見学
 ホテルインターブルゴ泊

3 月 28 日 (水)

章山中学校訪問 (学校見学・交流会・給食体験・
 テコンドー・サムルノリ・韓紙体験)
 大慶大学見学
 慶山溶岩温泉泊

3 月 29 日 (木)

カッパウイ登山、韓国民俗村見学
 水原華城 (世界文化遺産) 見学
 ソウルタワー見学
 ソウル・サットンホテル泊

3 月 28 日 (日)

景福宮 (世界文化遺産) 見学
 仁寺洞・明洞散策
 ソウル仁川国際空港から空路関西国際空港へ
 城陽市役所に 23 時帰着

※慶山訪問時は、副市長が権限代行を行って
 いました。



慶山市役所で記念撮影！
 慶山市が横断幕を用意してくださいました。





「韓国を訪問して」

東城陽中学校 1年 塩田 黎

私は、この中学生韓国派遣団の応募を母にすすめられるまで、城陽市のことを何も知りませんでした。というか、知ろうともしませんでした。姉妹都市が慶山市キョンサンだという事もその時に知りました。最初は嫌々で、説明会もやる気がなく、韓国なんか行きたくない！と母に怒っていました。でも、ハンゲルを勉強したり慶山市のことを調べているうちに楽しみで仕方なくなりました。

当日、初めての海外旅行という事、そして一年生が一人だという事で不安でいっぱいでした。でも、空港までのバスの中で同じ派遣団の人たちと打ち解けられて、幸先いい出発となりました。

韓国につくと、バスで移動して慶山市長と慶山議会を訪問しました。入口からもすごく歓迎してくださり、城陽からの代表が自分でよかったのかと不安になるほどでした。でも、挨拶が終わると副市長の方や議員の方々が気軽に話しかけてくださり、「背が小さいんだね。夜、たくさんご飯を食べて日本に帰るまでに身長がのびるといいね。」と冗談を言ったりして緊張をほぐしてくださりました。



鄭炳允副市長と握手！

そのあとは市場に行きました。市場は、お祭りの屋台と似ていて、いろんな匂いがしました。すごく懐かしい雰囲気でした。でも、そこから博物館へ移動するときの車窓から見た景色は、高層

ビルやきれいなレストラン、大きな看板など、東京のようでした。さっきまでいた場所はあるに昔のようだったのに、一步そこからだと急に都会のような景色が広がっていたので、「慶山市は発展中なんだな。」と思いました。

そして、市立博物館では、韓国の歴史を学びました。韓国の歴史は日本の歴史と似ていて、日本の卑弥呼の時代にあった生き埋めや、埴輪のようなものがあり、「日本と近い国なんだな。」と実感しました。

晩ご飯は焼き肉でした。とてもおいしかったです。でもお肉に負けないうくらい野菜もおいしくて、野菜は七杯も食べました。

その日のホテルはとても綺麗でした。お風呂に入ってすぐに、女子も男子も一つの部屋に集まってお喋りしました。

二日目、最初に章山ジャンサン中学校に行きました。校門から welcome モードがすごくて驚きました。私のパートナーのジャンミンちゃんが「welcome to Korea 歓迎 塩田黎」と書いた紙を持って笑顔で迎えてくれて、感動しました。挨拶などを済ませた後、体育館でテコンドーなどを観ました。テコンドーは、鳥肌が立つほどすごかったです。その他には、ダンスもあり、とても楽しい時間でした。お昼になると、食堂へ行き、給食を食べました。辛すぎて、ほとんど食べる事ができませんでしたが、周りにいた生徒さんがなんのためらいもなく残飯の所に流し入れてしまいました。周りを見ると、皆ほとんど残っていて、韓国の方は、「もったいない」という気持ちはあまりないんだな、と思いました。その後また図書館にいき、韓紙で人形を作りました。「のりで手がベッタベタだね。」と言って、ジャンミンちゃんと大笑いしました。この時初めて、英語を勉強しておいてよ

かったと思いました。そのまま学校を出て、ジャンミンちゃん達も一緒に大慶大学へ行きました。ここでは、たくさんの貴重な経験をさせて頂きました。大学見学の時はずっとジャンミンちゃんと手を繋いでいました。帰りのバスでは、アドレス交換や住所の聞きあいで大忙しでした。ここで交換したアドレスで、今もメールのやり取りをしています。海外で友達がたくさんできたことがすごくうれしかったです。この日のホテルでは、中学生の方々との交流で疲れたのか、夜更かしすることなくすぐに寝ました。



ダンス公演の後に記念撮影
— 章山中学校にて

三日目はカッパウィ登山をしました。坂がキツくてヒラメ筋が死にました。大仏さんのような形をした仏像、カッパウィ・プチョがあり、日本と変わらないんだな、と改めて感じました。でも、一つ違ったことがありました。それは、仏教を信じる気持ちの度合いです。日本ではどちらかというと、試験前とかお正月とか、何かと都合のいい時にしかお参りに行かず、行ったとしてもお金を入れて手を合わせてポンポンって叩くくらいです。でも、韓国の方々は、わざわざ地面に布を敷き、そこに正座して幾度も頭を下げていました。心から仏教を信じているんだな、と思いました。そう考えると、自分の仏像に対する態度は凄く失礼なのかもしれないな、と思いました。登山が終わると、またバスに乗って韓国民俗村へ行きました。民俗村では、博物館と同じく、韓国の歴史を学びました。映画村のような感じで今の韓国から急に昔の韓国の世界に入ったようでした。面白かったです。その後は世界遺産である華城^{ファン}へ行きました。

大きくてきれいで、感動しました。そしてまたバスに乗ってソウルタワーに行きました。ソウルの夜景はとても綺麗ではしゃぎまくりました。ソウルタワーから出るときに、プロポーズされている女の人がいて、思わずジューツとみてしまいました。

この日のホテルでも、また皆で集まり、夜遅くなるまで話をしていました。明日が最終日だから、すごく寂しかったです。

最終日、景福宮^{キョンボックン}へ行きました。ここもまた広くて大きくてきれいで・・・楽しかったです。お城を造るときの工夫なども知れて、すごく勉強になりました。

景福宮からだと、少し買い物をしました。店員さんが日本語を話せる人が多く、「これは日本で買ったほうがお得だよ。」「日本からきたんですか?」とたくさん話してくださいました。その次は電車^{ミョンドン}で明洞へ行きました。短い時間でしたが、買い物をしました。店員さんが積極的で困ってしまうときもありましたが、積極的なところが韓国の方々の長所なんだな、と思うと、すごいな、と思いました。買い物が終わると、荷物を取りにホテルに向かい、そのまま空港へ行きました。

帰りの飛行機では、韓国から出たくないな、と思い、飛行機が韓国の領空からでたときは凄く残念でした。でも、日本についたら友達にたくさん話をしよう!!とわくわくもしていました。

今回、この韓国派遣団に参加して、何も知らなかった慶山市のことを知ることができ、城陽市のこれからのことも考えていこうと思う事ができるようになりました。以前の私のように、城陽市、そして慶山市について何も知らない人がまだたくさんいると思うので、お土産話として、多くの人に伝えていこうと思っています。ありがとうございました。



ソウルタワーのマスコット



「韓国派遣団に参加して」

東城陽中学校 2年 静野 裕介

僕が韓国派遣団に参加した理由は家族にすすめられ、自分でも行ってみたいと思ったからです。正直、別の中学校の人と仲良くなれるか不安でした。でも、出発する前に何回か会議に参加して行くにつれて、仲良くなって行きました。

三月二十七日。韓国に訪問する当日。僕は朝からわくわくしていました。

八時に城陽市役所に集合し、バスで関西空港向かいました。空港で円からウォンに変えた時、今から韓国に行くんだと改めて実感しました。空港での時間は二時間ぐらいあったけど、とても短く感じました。

飛行機に乗って韓国に行く途中、耳が痛くなったけど、景色は何とも言えないぐらい綺麗でした。あつというまに韓国につくと、まず車で慶山市キョンサンにあいさつにいきました。ぼくは、緊張しながら、韓国語であいさつしました。意味がつうじたか分からないけど、市の人にうまいと言われたので嬉しかったです。市場では魚や漢方、トッポギなどの辛い食べ物も売っていました。トッポギは食べると舌がヒリヒリしましたが、やっぱり韓国は楽しいなと思いました。

夜は焼肉を食べました。焼肉は日本のよりも僕はおいしいと思いました。でも冷麺はとても辛かったです。

ホテルに行くと、深夜までみんなで喋りました。なぜなら、とても楽しくて寝れなかったからです。そうして、一日目が過ぎていきました。

三月二十八日。一番楽しみにしていた中学校訪問がありました。中学校では、テコンドーやダンス、サムルノリを見ました。一番驚いたのは、テコンドーです。いろんな形で木の板を割ったり、ナイフに刺さったリンゴを目かくしして、しかもバク宙でつぶしたりしたことに感動しました。そ

の後は給食を食べました。餅のような物とヨーグルトのような物は甘かったですが、主食とキムチは本当に口から火が出そうなくらい辛かったです。その次は章山中学校ジャンサンの人と交流しました。僕も少し韓国語で話しましたが、向こうの人達は日本語がペラペラだったので、驚きました。

その次は、韓紙を使った人形をつくりました。少し難しかったけれど、韓国の文化にふれて楽しかったです。その後は、別れのあいさつをして、章山中学校を後にしました。

次は、少数の章山中学校の生徒と一緒に大慶大学テギョンに行きました。大慶大学の中を見て回った後、香水をつくりました。僕は石けんのにおいにしました。僕は香水を自分でつくるなんて、夢にも思っていなかったのでビックリしました。けど、混ぜてすぐには変な臭いがしたので香水は時間がたつにつれて良くなっていくんだと思いました。次は音楽の所に行きました。すると、もうすぐプロのアーティストになる4人組が歌とダンスをみせてくれました。歌が終わるとみんなで記念撮影しました。アーティストと写真をみんなで撮るのは初めてなので、とても嬉しかったです。

最後はレストランに行きました。バイキングなのにとってもおいしかったのでビックリしました。それよりもビックリしたのは冗談で「歌メツチャうまいねん！」といったら、ガイドのキムさんが「歌いや。」と言ってきて、本当に歌うことになったことです。その時は恥ずかしかったけれど、今となってはいい思い出です。ごはんが終わるとバスでホテルに向かいました。

ホテルに着くと章山中学校の人と別れました。正直、悲しかったです。ホテルでは大浴場とプールに入って、すぐ寝ました。

三月二十九日。朝早く起きて、すぐにバスで移

動しました。山のふもとで朝食のチゲとかぼちゃのチヂミのようなものを食べて、八公山パルゴンサンの途中まで行って、そこからカップウィ登山をしました。登っている時はしんどかったけれど、頂上に立つと登ったかいがあったなという景色が一面にひろがっていました。記念撮影を終えると山をおりました。登るときよりもおりる方がひざが痛かったです。



次は民俗村にいきました。民俗村では昔の韓国の家や処刑場がありました。処刑場では体験があったので実際やってみると、けっこう痛くて、よく昔の人がこんなことを考えたなと思いました。処刑場を出ると人が集まっている所がありました。行ってみると綱渡りをしていて、目が離せませんでした。ガイドのキムさんの説明が分かりやすくてより一層、民俗村が楽しく感じました。



民俗村処刑場で刑罰を体験

その次は世界遺産にも登録されている水原華城スウォンファンソンに行きました。戦いに常にそなえていた事が分かる工夫がたくさんありました。一番楽しかったのが、昔の兵士がとまっていたという石でできている階段がたくさんある建物で、戦いがいつ来てもおかしくなかったんだということがわかつ

たことです。また、その建物の頂上から見ると芝生はとても見ごたえがありました。

次はソウルタワーに行きました。エレベーターが凄く速くて驚きました。でもソウルタワーからの景色はもっと驚きました。「がんばればどこまでも見えるんじゃないか？」と思ったくらいでした。

ホテルに戻ると、泊るのは最後なので、夜遅くまで起きていました。でも、楽しすぎて眠たくはありませんでした。

朝ごはんを食べて、景福宮キョンボックンに行きました。景福宮には門が数多くあり、驚きました。あと、色が落ちないように工夫がしてあったり、テレビ局がいたことにもビックリしました。

昼ごはんはビビンバでしたがサプライズで、城陽のAETのアシュリーとキャロリンが来てくれました。三カ国の人が集まったので凄いと思ってました。

最後は待ちに待った、買い物でした。買い物ではいろいろな種類の物が売っていて、面白かったです。日本語を話せる人が多く、あまり苦労しませんでした。それに無料でくれる物も沢山あって嬉しかったです。そういう所からも韓国の文化が分かったように感じました。

買い物が終わるとバスでホテルに戻り、荷物をまとめ、空港に向かいました。空港に着くともう韓国を出国するんだという寂しさが込み上げてきました。でも、それと同時にまた今度も来たいという気持ちが強くなりました。

韓国は車が右側通行だったり、信号に秒の表示が出たりなどと驚きの連発でした。でもこれが海外旅行、国際交流なんだと思えて、とても良かったです。日本と違う国の文化との交流は難しい所もあるけれど、やっぱり楽しかったです。本当に応募してよかったと思っています。ありがとうございました。



とても辛い章山中学校の給食



「韓国派遣団に参加して」

南城陽中学校 2年 福田 明里植

私がこの韓国派遣団に応募した理由は、簡単に言うと韓国のことが知りたかったからです。

三月二十七日、一日目は、朝八時に城陽市役所に集合して、バスで関西空港まで行って、そこから飛行機でプサン^{キム}金海空港に行きました。そして、バスで移動して慶山^{キョンサン}市表敬訪問で副市長にあいさつしてから、慶山市議のところに行って、そこでもあいさつをしてから市場^{シジャン}に行きました。市場の人たちは、すごく楽しい人たちで、話しかけてくれたし、売っているものも日本では見たことがないものがたくさん売られていました。それからバスで博物館に行きました。そこには昔の偉い人のお墓などが見られて楽しかったです。夕方になるとみんなで夕食を食べに焼き肉屋さんへ行きました。夕食のときサラダを食べていると、どんどんサラダを増やされました。韓国では、副菜は何回でもおかわりができることにびっくりしました。夕食はみんなで話をしながらで、とても楽しかったです。夕食が終わってホテル（インターブルゴホテル）に行きました。ホテルはすごくきれいで、びっくりしました。夜みんなで一つの部屋に集まって話しをしました。

二日目は、章山^{ジャンサン}中学校と大慶大学^{テギョン}の訪問をしました。章山中学校では、バスから降りたときから、教室や渡り廊下から「キャー」と聞こえてなんかうれしかったです。中学校ではテコンドーやサムルノリ、ダンスの見学をしてから給食を食べました。給食は日本とは違ってとてもおいしかったです。その後、会議室のようなところで、みんなでお菓子を食べながらいろいろな話をしました。それから、図書室で韓紙を作って人形にチマ・チョゴリを着せたり、友達とプレゼント交換をしてから、ペアの人と大慶大学の見学をしました。私のペアは、ホァン・ウンジさんという人で、と

ても元気でよくしゃべってくれる人でした。大慶大学はユニークな大学で、たくさんの学科があってびっくりしました。大学では、香水作りの体験をしたり、もうすぐデビューする『Blooming』というグループを生で見れて、普通ではできない体験ができました。夕食は大学の生徒さんも実習で使っているレストラン42番街で、生徒さんが作った料理をみんなで食べながら、ジブアニメなどの話で盛り上がりました。その後、バスでホテル（慶山溶岩温泉ホテル）そこにはオンドルという韓国では昔からある床暖房の部屋で寝ました。



BLOOMINGのメンバーと
— 大慶大学にて

三日目は七時くらいに起きて、バスでカッパウィの山の近くにあるお店で、そのお店で作った豆腐が入ったチゲ鍋を食べました。チゲ鍋は私にはちょうどいいくらいの辛さでおいしかったです。その後、八公山^{バルゴンサン}に登りました。八公山はとても坂が急で階段が多くて疲れたけど、登っている途中で景色がよかったので、けっこう楽しく登れました。山の頂上では、たくさんの人が大きいカッパウィに向かってお祈りをしていて、なんかすごかったです。山を下りた後、バスで韓国民俗村に行きました。そこは昔の人たちが住んでいた家を再現したようなところで、ドラマなどをとっ

ていたと聞いてびっくりしました。行く途中で、慶山市の人がキンパという巻きずしのようなものを買ってきて、それを食べました。^{スウォンファソン}水原華城は昔、敵がきたときに大きな壁の上から戦っていたそうです。それからバスで夕食を食べに行きました。夕食は牛カルビで、お肉がやわらかくて美味しかったです。夕食の後、ソウルタワーに行きました。ソウルタワーにはたくさんの人がいて、日本人もたくさんいました。タワーの上からはソウルの町が全部見えるみたいで、すごく夜景がきれいでした。その後、タワーにあるお店で買い物をしてからホテル（サットンホテル）に行きました。このホテルはすごく豪華で、みんな一つの部屋に集まって夜遅くまで話をしました。



四日目は朝起きて、地下鉄で景福宮に行きました。^{キョンボックン}そこはとても広くて門がたくさんあってびっくりしました。次に仁寺洞に行きました。そこに



慶山市の風景



慶山市役所

はたくさんのお店が並んでいて、楽しいお店がたくさんありました。お店の人は日本語がとても上手で、歌って接客をしながら作業をしている人のおもしろかったです。その後、^{ミョンドン}明洞に行きました。明洞に行ったときアシュリー先生とキャロリン先生が来ていて、びっくりしました。それから皆で石焼ビビンバを食べました。私は辛いものをたくさん入れてまぜてみると、すごくおいしかったです。その後は、みんなで買い物をしました。お店の人は日本語が上手で買い物をしたときに、おまけをたくさんつけてくれました。買い物の時間はすごく短かったけれど、楽しかったです。その後、一旦ホテルに戻ってからバスで^{インチョン}仁川国際空港に行きました。空港はとても広く、待ってる間ひまにならないくらいでした。

今回初めて韓国に行って、韓国の文化や歴史、礼儀などたくさんのことを学び、韓国の中学生や城陽市のいろいろな学校から来た人たちとも友達になれてとてもよかったと思うし、普通の観光ではできない経験もできて、実際に行ってみないとわからないことがたくさんあったのでよかったです。

本当にありがとうございました。



韓紙で人形作り
可愛く出来ました！



慶山市立博物館
前の三聖賢像



韓牛で晩餐会



「韓国訪問を終えて」

北城陽中学校2年 前川 達樹

今回の中学生派遣事業を終えて一番に思ったことは、韓国と日本は気候も似たようなものだから、本当の兄弟のように思えました。思い出のつまったデジカメには、写真が250枚近くになり充電も三日間で全部なくなってしまいました。そんな思い出に残った四日間はかけがえのないものになりました。



我が校の副市長から記念品をいただきました

一日目の朝、全員がそろって城陽市を出発しました。関西空港に到着して飛行機に乗りました。飛行機にのったのは、三回目だけ国際線の飛行機は初めてなので、前より緊張してしまいました。プサンに着いてからは、もはや別世界に見えるほど韓国語であふれて、そこら中の文字もすべて英語や韓国語しかなくて、韓国語や英語も日本語以外の言葉なんてまったくできない僕にとっては、訳のわからない場所で少し空港が苦手になりました。飛行機の中では、ずっとゲームばかりやっているとっていたのが一変し、ずっと窓の外を見ていたり、機内食を食べていたりして、すぐに時間がたっていました。韓国のプサンからバスに乗り、外の景色を見てみると、マクドナルドやファミリーマートなどの日本にもあるものも多く、緊張が少しほぐれていきました。慶山市役所につきいろいろ歓迎してくれた上に、おみやげもたくさんいただきました。次に議会に行って市役所と同じくらい歓迎してもらいま

した。二十分くらいバスに揺られ市場にいきました。慶山市場には、たくさんのお店があり特に気に入ったのは、蚕のさなぎを乾燥した状態で売っていたことです。それを昔タンパク質をとるためにおやつみたいにポリポリ食べていたらしいです。他にはトッポギという韓国のおやつや、カニ、果物、さらに韓国的高级魚タチウオがあったり、たくさんの食べ物がありました。それから博物館では、龍にまつわる話や昔の話がたくさん聞けてすごくタメになりました。その日の夜のご飯は焼肉で、みんなで取り合いになりました。宿舎では、みんな同じ部屋に集まり夜遅くまで話をしました。

二日目、朝早くに起きて章山中学校へ行きました。すごいたくさんの人が出迎えてくれて、みんな感激していました。中学校の交流会では、挨拶をしました。本当の韓国人の目の前ですごく緊張してしまい、すごく切れ切れになりました。けれどもみんな温かい拍手をしてくれてよかったです。



韓国民俗村で体験

大慶大学では、わけわからず中学生代表を受けてしまって、みんなと違う場所にすわってビクビクしていました。すごく広くて大きな大学でいろいろな教室に行きました。香水を作ったり、脳

のホルマリン漬けを見たりして、いろいろな体験をしました。夜ごはんも、大学内のレストランのバイキングで食べました。夜はすごく疲れて、ふとんに入ってから三十分くらいでみんな寝てしまいました。

次の日は朝からずっと動きまくった日でした。バスに乗り、朝食を食べ、八公山バルゴサンという山に登りきり、すごく景色のよい頂上では、電源がなくなるほど写真を撮りました。下山したら三時間半くらいバスにゆられ、民俗村や水原華城スウォンファソンなどを見学しました。水原華城の中にはすごく小さくした町が入っていました。昔の城壁の中に電車や、タクシー乗り場・バス乗り場などがたくさんありました。



ソウルタワーに行った時は、すごく圧倒されました。ソウルタワーの中では、おみやげ屋がたくさんありました。その日の夜も一日目と同じようにみんなが一つの部屋に集まり、最後に時計を見た時は、もう三時半を回っていました。

次の日、この日は韓国にいる最後の日です。最初キョンボクンに景福宮という世界遺産を見学しました。華城ファソンとはまったく違う和に近い風景で、日本の昔の人はこういった所をマネしていたんだろうと感じました。そこにはキーホルダーやしおりなどがあり、街全体がおみやげ屋のような雰囲気でした。地下鉄に乗った時には、飛び降りや落下を防ぐためのドアが、どこにでもついていました。

その地下鉄では、明洞ミョンドンという商店街に行きました。明洞では、コンビニやエチュードという化粧品店など人気のある所や、若者が好きそうな安くて物が買える所がたくさんありました。

この派遣団の訪韓で僕は、世界のどの国でも言葉が通じなくても、気持ちが通じれば仲間になれる気がしました。



テコンドーの実演に感激！



ジャンサン
章山中学校訪問



サムルノリ見学





韓国派遣団に参加して

南城陽中学 2年 丸岡 真亜沙

ドラマ「チャングムの誓い」を見ていて、韓国の歴史や文化、そして色とりどりの料理に興味を持っていました。それを知っていたお母さんから、「韓国派遣に参加してみたら？」と言われ、すぐに応募しました。たくさんの事を見て体験して感じてこようと思いました。

まず、韓国に到着して、^{キョンサン}慶山市の市役所と議会を訪問しました。市役所や議会では、たくさんの方が温かく迎えて下さいました。議会場など案内していただき、ちょっと緊張しました。「アンニョンハセヨ」



章山中学校で記念撮影！

^{ジャンサン}章山中学校も訪問しました。学校はきれいでした。たくさんの生徒さんが笑顔で迎えて下さいました。章山中学校での交流会では、見たり体験したりととても充実していました。韓国の国技であるテコンドーとサムルノリを披露してくれました。テコンドーは、空中で回転して板を割ったり、高い所にある板をけて割ったりと、動きがすばやいので、くいいるように見ていました。踊りながら楽器を演奏するサムルノリは、華やかさが感じられました。頭に大きな帽子のようなものをかぶっているの、思わず「あれ重くないのかなあ？」とつぶやいてしまいました。たくさん

のめずらしいものを見せていただいて感動しました。

その後、一緒に学校給食を食べました。辛い物も少しは食べれるはずと思っていましたが、ほとんどのメニューが辛い物で、全部食べきることはできませんでした。

午後からは、伝統文化の韓紙で人形作りの体験をしました。紙は日本の和紙に似ていて親しみやすかったです。韓国の民族衣装のチマチョゴリを韓紙で作りました。なかなか良い感じに出来上がりました。出来上がった人形とサムルノリのバチをお土産としていただきました。思い出の1つになりました。



3日目、カップウイ登山。登山の前、かぼちゃのチヂミとチゲ鍋を食べました。チゲは辛いけれど、かぼちゃのチヂミが甘いので、とてもおいしかったです。朝から汗をちょっとかきました。いよいよ登山スタート。道はすごく急な上り坂で階段です。1000段以上もあり、登りきるのがとてもしんどかったです。頂上に着くと、そこは絶壁でとても高く、ちょっと足がすくみました。辺り一面緑がいっぱいで景色はとてもきれいでした。ちょっと休けいした後、今度は下山。来た道を下っていくのですが、距離が長いので足がけいれ

んするくらいになってしまいました。本当にしんどかったです。

その日の夜、宿舎に行く前にソウルタワーを見学しました。ソウルタワーは人気の高い観光スポットで、人がたくさんいて、展望台に行くエレベーターに乗るのにも一苦労でした。展望台に行くと、ソウル市内の夜景が一望でき、まるで地上に星が降っているみたいで、とても感動しました。これは長い列に並んでも見る価値はあると思いました。

最終日、景福宮にいきました。景福宮は昔の宮廷で、王様の生活していた部屋や昔の廊下など見学しました。チャンダムがいた宮廷の台所は、今再現中で、見るができなかつたのでちょっと残念でした。

明洞では、韓国最後の買い物がスタート。時間は1時間しかありません。買ったかった化粧品やお菓子、おみやげなどどれにしようかと見ながらあっちこっちとまわりました。韓国のお店の人は、たくさん買うとその分おまけをくれました。そこが日本とちがうなと思いました。時間がもっとあればなあと思いました。

そしてたくさんの荷物を持って空港へ。スーツケースがあふれるくらい大量でした。荷物を整理しているとき、「もうこれで韓国とお別れやなあ。さびしいなあ。」と6人全員がつぶやき出しました。本当に楽しかったので、涙が出そうになりました。私は、また韓国に行きたいなあと思いながら、飛行機に乗りました。

滞在した4日間を振り返って、遺跡や文化交流、施設だけでなく、料理からも韓国の文化を肌で感じることができました。キムチ、トッポギ、チゲ、カルビ、キンパなど。

学んだ文化の違い、歴史、言葉が通じなくても仲よくなれた韓国の友達、日本の新しくできた友達、全てのこと

が私にとって大切な思い出で一生の宝物です。最後にお世話になった慶山市、城陽市の皆様、韓国派遣団に参加させてくれた両親に感謝します。本当にありがとうございました。



慶山市場の様子



市場のアイドル!!



美味しかったトッポギ





韓国に行って

北城陽中学校2年 柳井 美暁

私が韓国に行きたいと思った理由は、去年キョンサン慶山市の中学校が私の中学校へ来られた時にとっても楽しかったからです。

最初は友達といっしょに行く約束をしていました。しかし、その友達は行けなくなり、一人で参加するという状態になってしまい、「友達出来るかな？大丈夫かな？」と不安になっていました。ですが、みんな良い人で参加して本当に良かったと思いました。

一日目

この日は、楽しみにし過ぎて寝不足でした。しかし、そんな寝不足に勝つ、ワクワクがあったので、大して眠たくはありませんでした。

空港についた時、まわりが韓国語だらけだったので、「うわ。本当に韓国にきたんや。」という感じでとても驚いていたことを覚えています。

私は、表敬の挨拶の係でした。一番最初という事もあり、とても緊張しました。あと、前に座っている韓国人の目つきが怖くて「なんか間違えたかな？」と不安になっていましたが、言い終わった後、温かく拍手をさせていただいて、不安だった気持ちが吹っ飛びました。



韓国語で挨拶しました
— 慶山市役所にて

そして、市役所訪問が終わり、市議会訪問へ行きました。そこで、事件がおきました。なんとお菓

子をそのままかばんの中に入れてたんです。そして、ビスケットを口につめられました。最悪だと思いました。ですが、それが韓国の方なりの優しさなのかなとも思いました。

シジャン慶山市場では、トッポギを食べました。甘辛くてとても美味しかったです。これを、韓国の方はおやつに食べているなんてうらやましいなと思いました。他にも、シジャン慶山市場にはいろんな物があり、犬もいました。日本の市場にも行った事がないので、比較はできませんでしたがおもしろかったです。



友達になったシジャン章山中学校の生徒さんと

二日目

ジャンサン二日目は、テギョン章山中学校と大慶大学に行きました。

章山中学校では、「柳井美暁 歓迎」という紙を持っている子がいて、その子を見た時に、画数多い漢字ばかりなのによく書けたなど感動しました。

章山中学校の生徒さんの発表で、テコンドー、ダンスがとてもすごかったです。テコンドーが、特にすごくて、同じ中学生とは思えない動きで驚きました。

大慶大学では、いろんな学科を見学しました。香水をつくったり、モデルの方々と会ったり、

K-POPの見学をしたりしました。

私が一番印象に残っているのは、Blooming と会った事です。もうすぐデビューするグループなので、やっぱりダンスが上手かったです。ショートヘアの人が、一番優しくて、一緒に写真を撮ってくださったり、握手してくださったりで、もし日本デビューしたら、その人を応援したいとおもいました。

三日目 三日目は、カッパウイと韓国民俗村^{スウォンファンソン}と水原華城とソウルタワーへ行きました。

カッパウイは、頂上からの景色がきれいでした。

韓国民俗村はチャングムのセットが置いてあったり昔の家がありました。韓国の北の方の家と南の方の家は全然違って、昔の人の工夫で、北の方は寒さに堪えられるようなつくりになっています。南の方は暑さに耐えられようになっています。昔の人は賢いなと思いました。

水原華城は、中がとっても広かったという事が印象に残っています。壁に穴が開いていて、その穴が違う方向を見れるというのは、驚きました。

ソウルタワーは、夜景がとてもきれいで、あと、世界一速いエレベーターで、上の映像を見ているうちに最上階につくというのは驚きました。

四日目

四日目は、景福宮^{キョンボックン}と仁寺洞^{インサドン}と明洞^{ミョンドン}でした。明洞で買い物するのを楽しみにしていたので、わく

わくしていましたが、今日で最後なんだという悲しい気持ちもあって、複雑な気持ちでした。

景福宮は門がすごかったです。それに、建物の内装がとても華やかでした。位の順番に並ぶところがあって、その名前は、品階石というらしいです。

仁寺洞では、龍のひげというお菓子の実演をやっていました。そこのお兄さんの言葉が変な関西弁でおもしろかった事を覚えています。

明洞では、思っていたよりも自由時間が少なくあまり見れなかったのですが、友達や家族へのお土産、自分のほしい物は買ったのでよかったです。明洞に行って思った事は、「日本人、多っ！」という事です。そこらじゅう日本人が居て、韓国という感じがしませんでした。

私は韓国に行って一生忘れない良い思い出が出来ました。とても早い4日間でした。普通に旅行する時には、行けないような貴重な所へ行けたり、体験ができたりでとても内容の濃い4日間でもありました。

本当にありがとうございました。



インサドン
仁寺洞にて



カッパウイ



キョンボックン
景福宮



韓国民俗村

韓国 テギョン 大慶大学

DAEYUNG 대경대학교



大慶大学は、37の学科のある特性化大学です。開校12年を迎え、開校以来目覚ましい成長を遂げてきました。

‘他とは違う、もっと良い’という理念の下に設立されました。500人の学生と一つの校舎から始まり、現在は校舎、寄宿舎各5棟となりました。学生は5,000人を越え、中国、日本、ロシア、インド、ベトナムから来た留学生も学んでいます。

※特性化大学とは、地域の特性と各コースの連携を生かしながら、スペシャリストを育成する大学。



テギョン 大慶大学見学ツアー



総長と記念撮影



香水作り体験！



ホテル料理学科の学生たちが調理するレストラン「42番街」



モデル科の学生と共に



デビュー直前の BLOOMING 大慶大学の学生です

文集の発行にあたって

2011年度の中学生韓国派遣団に団長として同行してまいりました。

6人の団員の感想に綴られているように、各自が様々な体験を通して将来の大きな糧を得ることができ、派遣事業の目的を十分に果たしたものであると思います。

姉妹都市慶山市^{キョンサン}では市役所、議会、慶山市場、市立博物館、章山中学校^{ジャンサン}、大慶大学^{テギョン}など多岐にわたる見学先を準備していただき、大変有意義な訪問となりました。中でも中学校でテコンドー、ダンス、サムルノリなどを見学し、また大慶大学では美容、香水作り、モデル、医療、放送、Kポップ、ホテル・マネジメントなど幅広い職業訓練の体験を現地の中学生とともに一緒に共感できたことは、大変貴重な経験になったと思います。



慶山市は、韓国第3の大都市大邱市に隣接する人口約25万人の学術都市ですが、田園地帯を残しながらも中高層の集合住宅が各地に建てられ急速に近代都市化しているようでした。また、広い幹線道路を市内にめぐらせて交通網の整備を図るとともに産業振興に力点を置かれていることが伺い知れました。

これらのことから近年の発展と各分野における果敢な挑戦を続けている慶山市や韓国社会の限りない可能性と豊かな将来が見て取れるようでした。参加者にもそうした空気が伝わったの



ではないでしょうか。

慶山市を後にしてからの世界遺産華城や景福宮での文化や歴史、ソウルタワーからの雄大な夜景なども強く印象に残ったと思います。

また、歓迎して下さった慶山市の方々や学生達の友情と親切な心は何よりの宝物となったことでしょう。

このような海外での経験をもとに参加された学生の皆さんが将来大きく成長されていかれることを楽しみにしております。同時に生涯にわたり親善と友好の気持ちを大切にしてくれることと期待するものであります。

14回目の中学生派遣事業でしたが、募集時に応募動機のコメントを求めたためか、7人の応募（事前に1人が都合によりキャンセルとなりました）で3年生が不在という派遣団でしたが、参加者は協力しあい積極的に行動していたことも印象に残りました。

末筆ながら、慶山市の訪問に際して、市役所をはじめ行く先々で大変丁寧な心温まる歓迎を受けました。改めて敬意を表しお礼申し上げる次第であります。併せて、協会事業に対する城陽市の多大なるご協力に心から感謝いたします。

2011年度中学生韓国派遣団団長
城陽市国際交流協会副会長

皿木 睦夫



編集・発行：JIEA 城陽市国際交流協会

〒610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4 西邦ビル2階

TEL：0774-57-0713

FAX：0774-57-0714

E-mail:office@jjea.jp